

日本語学科・教育研究上の目的及び3つのポリシー

教育研究上の目的

外国語学部日本語学科は、日本語学に関する学識を修め、幅広い教養と国際的視野に立脚した職業能力を有する人材の養成を目的とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

日本語学科は、卒業に必要な単位を取得し、以下に示すような能力を備えていると認められる学生に、卒業の認定を行い、学士（日本語学）の学位を授与する。

1. 豊かな教養と専門的知識およびそれを活用する技能

- (1) 母語として、または第二言語・外国語としての日本語の高度な運用能力を有し、それを基礎として国際社会で求められる幅広い教養と知識を修得している。
- (2) 日本語学の専門的な知識をもとに、日本語を客観的および分析的に理解することができる。

2. 他者との共同による問題発見・解決能力と、それを支える思考・判断・表現力

- (1) 日本語学・日本語教育学の専門的な知識と、語学・異文化理解等の能力を組み合わせ、専門分野に関して議論することができる。
- (2) 自らの視点による考えをまとめ、文章や口頭で発表する能力を修得している。

3. 自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感

- (1) 日本語学・日本語教育学の専門知識をもって地域社会や国際社会のニーズに応えようとする意欲を持っている。
- (2) 日本の文化・社会・歴史等についての問題意識を持ち、先入観を持たず自ら課題を設定することができる。

4. 本学の建学の精神や本学の理念に対する理解

- (1) 日本語および日本文化を東西文化の接触・交流の観点から理解している。
- (2) 自らが学んだ内容が、多文化共生を前提とした現代社会において果たしうる役割を理解している。

教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

日本語学科は、卒業認定・学位授与方針に掲げる能力を修得させるために、以下のような内容、方法、評価の方針に基づき、教育課程を編成する。

1. 教育内容

- (1) 全学共通科目を通して、広く一般的な教養を身につけさせる。
- (2) 学科の特性を生かした職業選択に応じたキャリア教育を行うとともに、社会人として仕事をするうえでの強みとなる実務的かつ高度な日本語力を身に付けさせる。
- (3) 初年次においては、必修の基礎教育科目で、日本語の基礎的運用能力を向上させながら、専門的な研究に入るためのスタディスキルやITスキルを修得させる。
- (4) 専門教育科目では、日本語学、言語学、日本語教育学関連の必修科目および語学の選択必修科目の学修を通じて、日本語学、言語学、日本語教育学、語学、異文化理解等の能力を修得させる。
- (5)

2. 教育方法

- (1) 留学生と日本人学生との共修を通じて、異文化理解の能力を実践的に身につけさせる。
- (2) 日本語に加えて複数の外国語を学ばせることによって、日本語と他言語との比較の視点や、日本語教育上必要な学習者の母語についての知識を修得させる。
- (3) 少人数制のゼミにおいて、自ら設定したテーマに基づき卒業研究を行うことによって、特定の課題について問題意識を持ち、自らの視点で考えをまとめ、発表する能力を修得させる。

3. 評価方法

- (1) ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）で掲げられた能力の形成的な評価として、日本語学科における卒業要件達成状況、単位取得状況、GPA、外部客観テスト等の結果によって測定するものとする。
- (2) 単位制度の実質化を図るため、成績評価の方法及び基準を明確化し、成績評価を厳格化する。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

日本語学科は、教育研究上の目的、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）に基づき、次のような要件を備えた受験生を各種選抜試験によって受け入れる。

1. 知識・技能

- (1) 日本語学に対する深い関心と、それを専門的に学ぶのに十分な基礎学力を持っている。
- (2) 日本語について専門的に学ぶための基礎となる確かな日本語力を持っている。

2. 思考力・判断力・表現力

- (1) 日本語や日本の文化を世界の言語・文化の中で相対化し、客観的に見ることのできる批判的な思考力や判断力を持ち、その思考や判断を的確に表現できる。
- (2) 先入観や偏見にとらわれず、広い視野から外国文化に触れ、それをありのままに理解できる。

3. 主体的に学習に取り組む態度

- (1) 日本語や日本の文化を深く学ぶとともに、外国語・外国文化にも関心を抱き、異文化交流に積極的に参加する意欲を持っている。
- (2) 日本語教師・国語教師のみならず、本学科で修得した能力と知識を生かして、広く世界と日本の中に活躍の場を見出したいと考えている。
- (3) 日本語学科で学んだことを創造的に活用して、大きな変動の中にある現代社会の需要に応えたいと考えている。

アドミッション・ポリシーと各入学選抜試験との関連について

入試方式	選抜方法	アドミッション・ポリシー		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
		AP1	AP2	AP3
一般選抜 (大学入学共通テスト 利用入試(前・中・後))	大学入学共通テスト	●		
一般選抜 (全学部統一入試 (前・後))	学力試験 (国・英)	●		
一般選抜 (3教科)	学力試験 (国・英・選択)	●		
一般選抜 (英語民間試験活用総合 評価入試)	外部試験スコア (GTEC CBT・TEAP・IELTS™・ 日本英語検定協会実用英語 技能検定)	●		
	調査書	●		●
	課題		●	●
総合型選抜 (自己推薦 (併願可能型・専願型))	自己推薦書		●	●
	日本語		●	●
	個人面接		●	●
学校推薦 型選抜	指定校	●		●
	スポーツ			
	公募制	●		●
		小論文	●	●
特別選抜 試験	社会人	調査書		●
		小論文	●	●
		個人面接	●	●
	留学生	調査書	●	●
		小論文	●	●
		自己推薦書	●	●
		個人面接	●	●